

食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第44回 2022年1月)



お正月だからといって、うかれ気分は皆無の食いしん防です。とりあえず雪の中を近所の神社へ初詣に参って、ふだんないがしろにしている神さまに一心にお願いをしてきた。「どうか今年も、このコーナーに書いていることが、うちの奥さまの目に留まりませんように……」

今回は、このコーナーを書くにあたって、大きな影響を受けた3人のエッセイ作家を紹介する。あくまで影響を受けたんで、決してパクってるわけじゃないからね、念のため。

まず1人目は、食いしん防が中学生のころに初めて読んで衝撃を受け、大ファンになった筒井康隆。半世紀に渡る作家歴を重ね、いまだ現役の巨匠である。小説も傑作目白押しだが、エッセイも傑作揃い。電車の中で読んでいて笑いが止まらなくなり、周りから白い目を向けられたことも。若いころはよく筒井先生の文体をコピーして書いていたものだ。今でも尊敬する人ナンバー1！

2人目は漫画家が本業の東海林さだお。彼の書くエッセイも絶品で、とりわけ「丸かじりシリーズ」など食べ物に関するものは他の追随を許さない。フランス料理のような高級店ではなく、庶民的な食べ物について書く時の筆の冴えたるや、読んでいてよだれが止まらなくなるほど。本当に美味しそうなんだな。食いしん防もこんな風を書いてみたいと思うのだが、足元にも及ばない。

3人目は哲学教授の土屋賢二。彼のエッセイも東海林さだおと同じく、時事ネタが一切ない。内容のほぼすべては自虐ネタで、中でも自身の奥さまについての文章はノーベル賞級の素晴らしさである。最近出版されたベスト集「妻から哲学」は、読みだしたら笑いが止まらなくなること請け合い。下手をすると笑いすぎて心臓が止まるかもしれない危険な本だ。こんなのが書けるなら妻に、いや悪魔に魂を売ってもいいほどだ。

男性作家ばかり並べてしまったので、女性も1人挙げておこう。やはり本業は漫画家の伊藤理佐。彼女が朝日新聞に隔週連載している「大人になった女子たちへ」は、抱腹絶倒の面白さ。真似不可能な独特の文章は、麻薬的な魅力を持つ。この人や東海林さだおはもちろん、筒井康隆や土屋賢二も自分でイラストを描いたりしている。絵心と文章力には関連があるのだろうか。だとすると食いしん防は……くく、ヤバいかも……



自画像展 筒井康隆



東海林さだお



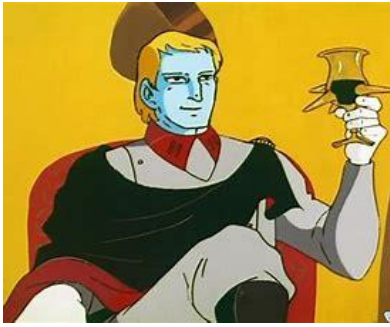
土屋賢二



伊藤理佐

TOPICS

☆ついにトピックスがネタ切れに！



前号まで 43 回に渡って途切れず2つのネタを掲載してきたこのコーナーに、とうとうネタ切れが訪れた。決してサボっていたわけではないのだが……

コロナを言い訳にするわけにはいかない。かつてデスラー総統も言ったように、「言い訳はいいわけない」のである。これからも頑張るので、どうか食いしん防災部会をお見捨てなきよう。

☆市内まち協自治連研修で「こと防」が事例発表！

12 月に湖東コミセンにおいて開かれた「東近江市内まち協自治連代表者研修」において、「こと防」が事例発表を行なった。

この日のために食いしん防はパワーポイントの資料を作り、多数のギャグを練り、(脳内で)発表の練習を何度もした。万全の態勢で赴いた会場には、東近江市内全 14 地区から集まったまち協と自治会連合会の代表たちが、ズラリと並んでいた。緊張で舞い上がりそうになるのを懸命に抑え、出番を待っていたのだが……

「こと防」の前に発表した某プロジェクトが、20 分の予定をオーバーして 45 分間もしゃべってしまったのだ！ 食いしん防が舞台上上がったのは、全体の終了予定時刻の数分前。用意していた会心のギャグはすべてすっ飛ばし、真面目な部分も半分以上すっ飛ばし、何が何だかわからないうちに晴れの舞台(?)は終わった。トータルタイム5分弱。客席からは笑い声ひとつ上がらなかった。

良いこともあった。研修の事務局を担当した市まちづくり協働課の M さんが「わたし食いしん防災隊のファンなんです♡」と言ってくれたのだ。褒められることがめったにないため、おべんちゃらではないかと疑った。しかし「食いしん防災隊が行く！」の傑作集を自ら編集して、資料として研修出席者に配ってくれたではないか！ 本当のファンがこの世に実在したのだ！ それを知っただけで食いしん防は大満足である。ありがとう M さん。一生ついていきます。

↓ 発表する食いしん防

今後の活動予定

1 月 21 日 こと防・自治連合同研修
(湖東コミセン多目的ホールにて)



※ 出前講座の申し込み受け付けます！

勝手にQ&Aコーナー

Q：「言い訳はいいわけない」と言ったのは、デスラー総統ではなく部下の方ではなかったですか？

A：おぬしマニアだな!? 確かにおっしゃる通り。くだらない駄洒落を言った部下は、総統によって穴に落とされたのでした。



Q：やはり土屋賢二のファンでしたか。そうじゃないかと思ってました。周りから尊敬されてないところなどもそっくりですよ？

A：土屋先生がそう書いておられるのは、あくまでネタとしてで、実際は尊敬を集めているはず。実際に馬鹿にされている食いしん防と一緒にしないでいただきたい。反省して先生のご本を10冊ほどお買いなさい！ 心が清められること請け合いです。

楽しい質問、お待ちしております！

(文責：こじまっちょ)

